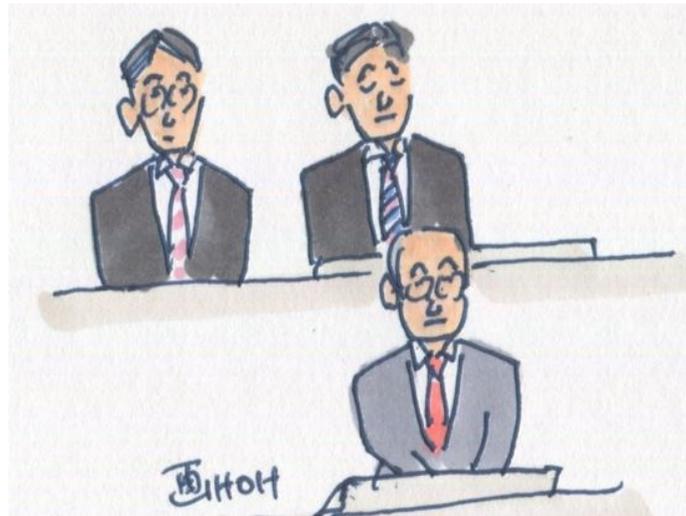


原子力防災、上越センター病院改築などで質疑



定例議会が先月28日から始まっています。初日は市長の提案理由の説明の後、総括質疑が行われました。私はトップバッターでした。原子力防災での「実効性の高い避難体制」に対する認識、上越市合併20周年事業において、これまでの歩みと課題の整理が反映された予算となっているか、上越地域医療センター病院の改築問題などで市長に問いました。

原発事故が自然災害と重なった時にどう避難するか、がいま大きな問題のひとつになっていきますが、市長は「実効性の高い避難」とは具体的にどう考えているかとの問いに、「被ばくを避ける、または低減を図りながら、安全かつ確実に避難できる体制」だと認識していると答弁しました。私からは「いかにして被ばくせずに市民が確実に逃げられるようにするか」これが重要だと反論しました。その上で、1月26日に大島区旭地区で実施された県の原子力防災訓練を例に挙げ、地域住民が逃げるにも雪崩対策だけでも課題

があることを具体的に指摘し、課題整理を委員会審査までしておくよう求めました。

注目されたのは上越地域医療センター病院の改築問題です。12月6日に行われた厚生常任委員会の所管事務調査では、地域医療構想の議論、病院の経営環境の変化、病院改築後の収支見通しの3つを理由に、「現時点では改築に着手することはできないと判断した」と発表しました。これはいつときも早く改築を望んでいる関係者には衝撃でした。

その後、世論を考慮し、市長は「2年後には改築に着手する」とのべました。私からは、「基本設計に向けた準備の内容は何か」「令和7年度中に基本設計に着手する可能性はあるのか」などを問いました。

市長は、「遅くとも2年後には改築に着手する」「令和7年度は改築に向けた準備をする期間であり、取り組むべき最優先の課題はセンター病院の経営改善だ」「病院改築の基本計画見直しに反映させるためには、少なくとも会計年度以上の時間がかかるとみており、令和7年度中に基本設計に着手する考えはないが、センター病院と共に早期の改築をめざし、取り組んでいく」と答えました。

再質問では、中川市長の任期がこの秋までであることから、「2年後に着手するといっても、市長になっていなければ空手形になる(可能性もある)」。2年後には必ず建てるというのであれば、いつから基本設計になるかのスケジュールもちゃんと示して市民に説明することが必要だ」と重ねて追及しました。しかし市長は、「基本設



【マンサク】(再掲)マンサク科の落葉小高木。漢字で、「万作」または「満作」と書きます。花期は2月から3月。雪があるなかで黄色の花を咲かせていると目立ちます。野山に咲く一番早い植物です。1日に安塚区に行った時の帰り道、朔日峠で見かけました。青空も出ていたので、写真撮影日和でした。花言葉は、「幸福の再来」「灵感」「ひらめき」など。

計については年度が明けてから、いろいろ考えていきたい」と答えるにとどまりました。これじゃ無責任というものです。

一般質問は17日から

3月議会の一般質問は17日から5日間行われる予定です。5日現在、質問通告者は17人ですが、締め切りまでにはもう10人くらい増える見込みです。

日本共産党議員団では、すでに上野議員が通告済みです。今後、平良木議員と私も通告の予定です。私は災害対策を中心に質問する予定です。

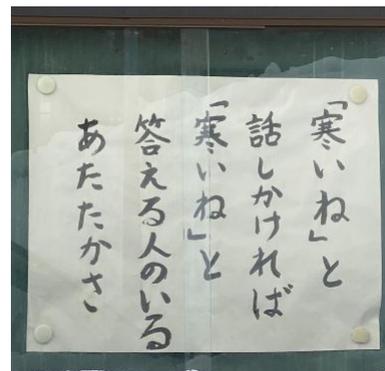
今年もヒナ誕生か

吉川区で営業していたコウノトリの夫婦が昨年に続き、卵を温めているようです。今週中には市教育委員会から正式発表される予定です。昨年は4羽のヒナが誕生し、巣立ちました。今年は天候が心配ですが、順調にいくと4月上旬にはヒナが誕生します。楽しみです。1日撮影。



浄善寺の掲示板

柿崎は浄善寺の掲示板の言葉が素敵です。「ヤーぶいねかねえ」「そいがささぶいね」(Yさん)



はしづめ法一の活動レポート

No.2195 2025.3.9

発行編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず

Tel 025-548-3627

通じないときは 090-5392-1961

E-mail hasiznyg_0808@yahoo.co.jp

URL <https://www.hose1.jp/>



ブログ「ホーセの見である記」はこちら

橋爪法一

検索

春よ来い

第八四二回

交尾

それは一月二六日の朝、突然やってきました。時間は朝八時半頃です。車の中からカメラを巢のところに向けて、写真を撮り始めたばかりのタイミングで、巢の上にいるコウノトリのメスの背中にオスが飛び乗ったのです。

これは交尾に違いない。ならば動画で撮らなきゃ。そう思ったのですが、慌ててしまいました。動画ボタンを押した途端、カメラがずれてしまいました。電柱の下の方から巢の上に再び焦点を当てることができず、五秒ほど要しました。この間に交尾行動は進みました。でも、まだ終わっていません。

メスの背中にのぼったオスはしゃがんで左右の翼を何度も動かし、ことが終わった時点で、すっと立ち上がり、体操の選手があん馬から下りる時と同じく、横へ着地しました。そして首を伸ばすようにしてカタカタカタという音を立てました。するとメスもまたカタカタカタとやりました。これはくちばしをカスターネットのように叩くクラッタリングという行動です。私には、「私たちは愛し合っているんだぞ」と宣言しているように見えました。

交尾の様子を初めて見る事ができて、私は興奮しました。私は二〇一九年八月十七日、吉川区赤沢で初めてコウノトリの姿を見ました。その後、コウノトリの観察を続けてきましたが、昨年の春、わが家と親戚筋のSさんが交尾の撮影に成功したと聞いた時はうらやましく思いました。そして、いつか交尾している実際の姿を見てみたいとずっと思っていたのです。

じつは、今年の一月中旬頃、「ひよっとしたら交尾かも知れない」と思った場面があったのです。このときは、バックに入れておいたカメラを最も大事な時に出せませんでした。まだ繁殖期には入っていないという勝手な解釈をしていて、気持の上でも

準備は全くしていませんでした。その後、インターネットで調べてわかったことですが、コウノトリは一月から繁殖期に入ることもあるんですね。勉強不足でした。

この日、交尾をしていたコウノトリは、個体番号0250のメス(六歳)と個体番号0287のオス(五歳)のペア(つがい)です。昨年、吉川区内の電柱のてっぺんに巣を作り、四羽のヒナたちを育て上げていました。巣立ったヒナたちはなかなか戻らないものの、ペアは一度使った巣に再び戻って繁殖活動をする事があると聞いていました。それが現実となったのです。

好奇心旺盛な私は、これを契機にコウノトリ撮影用のカメラをいつも持つようにし、交尾撮影のチャンスがいつ来てもいいようにと心の準備をしました。

今年、その後、二月一五日に二回、二月二五日に一回と三回にわたりコウノトリの交尾の様子を撮影することができました。このうち四回目の交尾の動画では、それまでの正面からは違って、横から交尾の様子を鮮明に撮影できました。オスがメスの背中に乗った時、オスの足が折れ曲がり、メスをしっかりと押さえていること、交尾行動は二段階になっていて、後段で体が一体となることなどがわかりました。翼を動かしたり、首を振ったりする所作は美しく、ほればれしてしまいました。

写真撮影できなかったケースも含め、コウノトリの交尾の様子はこれまで、五回見ることができました。一回の交尾には二〇秒前後かかります。五回も見たことで、交尾前のオスの気持ちの高ぶりとためらいなども知ることができました。

交尾は一日に何回もすることがあるそうですが、昨年は一度も見る事ができませんでした。それが今年は四回も撮影できたのです。交尾がこれほど美しく、感動的なものだったとは……。最高の気分です。

川谷冬まつり、今年も賑やかに

3月2日、「百年百笑物語の郷」川谷へ行ってきました。恒例の冬まつりがあったからです。

参加者は30数人、地元の人たちを中心に川谷出身の人、法政大OBの人などが集まりました。そうそう、地元の学校の先生も参加されていましたよ。

この日は、小雨が降ったこともあって、サイの神は燃え終わるまで時間がかかりました。そのかわり、参加者のみなさんとたっぷり話げできました。ヒデキさんのシンセサイザー演奏は「川谷小中学校校歌」と「乾杯」でした。今回も乗りに乗りましたね。



上越地域各消防署における 空間放射線量率測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。

消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	2月26日(水)	3月5日(水)
上越消防署	0.050	0.050
上越南消防署	0.047	0.040
新井消防署	0.053	0.053
頸北消防署	0.050	0.053
頸南消防署	0.067	0.067
東頸消防署	0.050	0.040
名立分遣所	0.057	0.060
高士分遣所	0.053	0.053



活動レポートの次回の発行は23日となります。私の一般質問は24日午後の予定です。